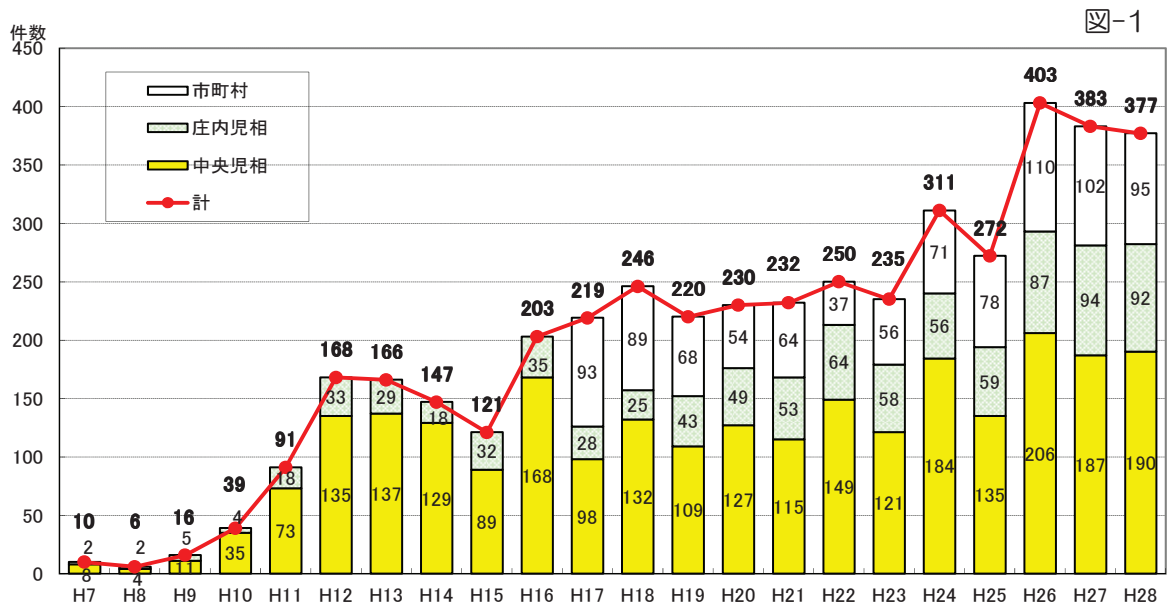


## 1 虐待の状況

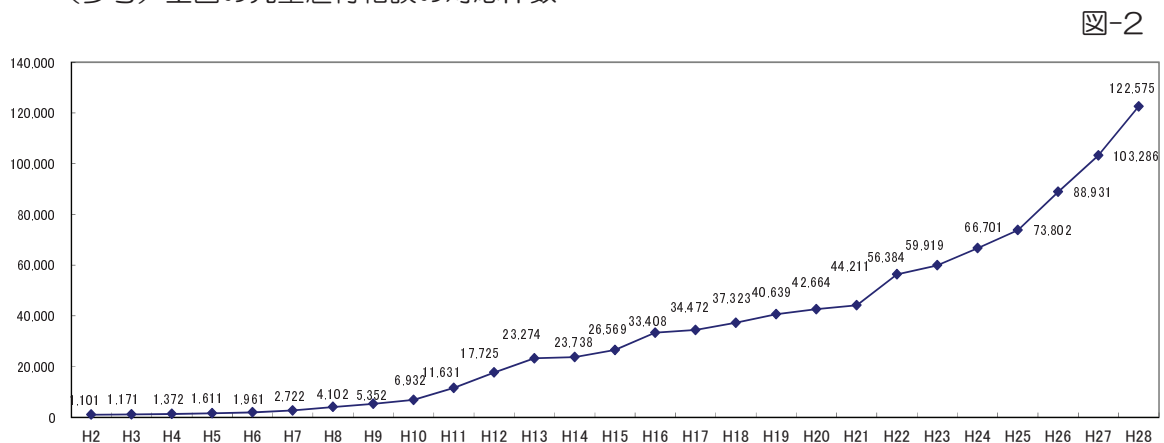
### (1) 児童虐待件数

- 平成17年度以降は、市町村も相談・通告を受付けるようになったことから、この分も含めて児童虐待件数としている。
- 児童虐待件数（被虐待児童数）の推移は、平成12年度に一度ピークを迎え、その後減少傾向にあったが、平成16年度から増加に転じ、200件を超える状況で推移している。その後も、平成22年度からは250件、平成24年度からは300件を超える状況で推移している。
- この傾向は全国の状況とほぼ同様であり、平成12年11月20日に児童虐待防止法が施行されたこと、平成16年に法改正されたことに伴い、児童虐待への認知や関心が高まったこととの関連が考えられる。
- 平成24年度以降の増加は、警察からの通告が増加した影響や、児童相談所全国共通ダイヤル（189）やマスコミ報道等で、児童虐待への意識が高まったことの影響が考えられる。

#### ①児童虐待件数



(参考) 全国の児童虐待相談の対応件数



※平成22年度は、東日本大震災の影響により、福島県を除いて集計した数値

## (2) 虐待の種別

- 主たる虐待の種別は、「心理的虐待」が53.2%と最も多く、次いで「身体的虐待」の24.2%、「ネグレクト」の21.8%の順番となっている。
- 前回調査（H21-H24）との比較では、「心理的虐待」の割合が32.5%→53.2%と大幅に高まり、「身体的虐待」が29.3%→24.2%、「ネグレクト」36.8%→21.8%と、割合が下がっている。これは、警察による「心理的虐待（DV目撃）」の通告が増え、「心理的虐待」の割合が高くなったことに伴うものである。

### ①虐待種別（主たる虐待）

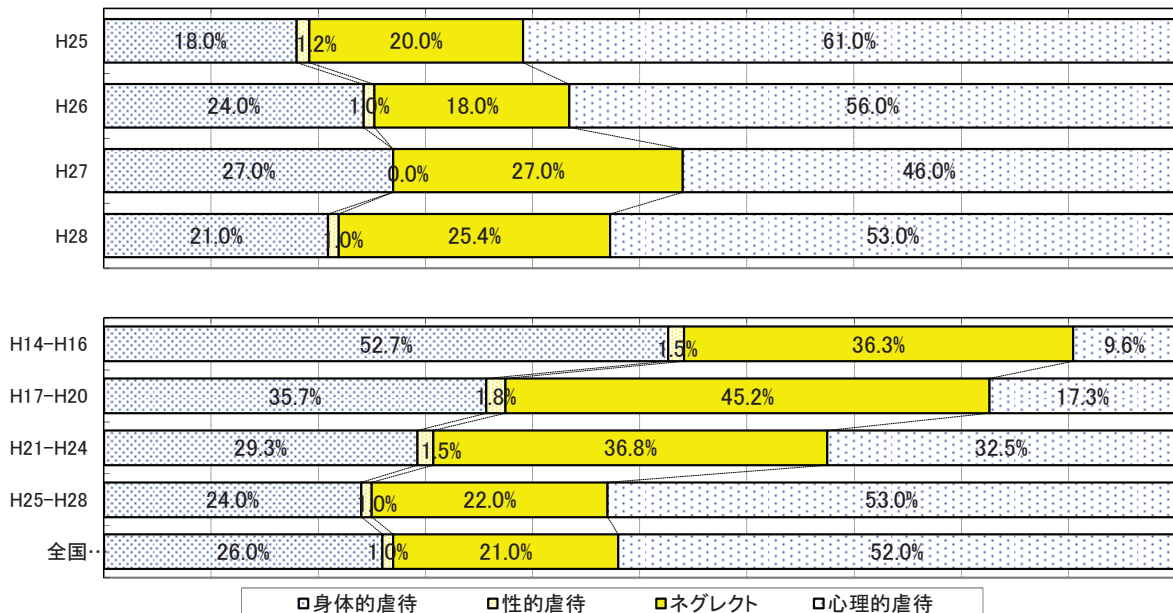
表-5（件数、横構成比）

	身体的虐待	性的虐待	ネグレクト	同居人による虐待の放置		心理的虐待	DV目撃		計
				同居人による虐待の放置以外	同居人による虐待の放置		DV目撃を除く	DV目撃	
H14-H16	248	7	171	—	—	45	—	—	471
	52.7%	1.5%	36.3%	—	—	9.6%	—	—	100.0%
H17-H20	218	11	276	—	—	106	—	—	611
	35.7%	1.8%	45.2%	—	—	17.3%	—	—	100.0%
H21-H24	234	12	294	289	5	260	174	86	800
	29.3%	1.5%	36.8%	36.1%	0.6%	32.5%	21.8%	10.8%	100.0%
H25-H28	254	8	229	203	26	559	194	365	1,050
	24.2%	0.8%	21.8%	19.3%	2.5%	53.2%	18.5%	34.8%	100.0%
全国 (H28)	31,925	1,622	25,842	—	—	63,186	—	—	122,575
	26.0%	1.3%	21.1%	—	—	51.5%	—	—	100.0%

※全国は福祉行政報告例による

虐待種別割合（主たる虐待）

図-3



### ②虐待種別（主・従たる虐待：複数回答）

表-6（件数、横構成比）

	身体的虐待	性的虐待	ネグレクト	同居人による虐待の放置		心理的虐待	DV目撃		計
				同居人による虐待の放置以外	同居人による虐待の放置		DV目撃を除く	DV目撃	
H25-H28	282	14	390	371	19	411	245	166	1,097
	25.7%	1.3%	35.6%	33.8%	1.7%	37.5%	22.3%	15.1%	100.0%

### (3) 虐待の期間

○虐待の期間は、「1ヶ月未満」20.7%、「1ヶ月以上3ヶ月未満」4.0%で、3ヶ月未満の早期発見が全体の約1/4を占める一方、「1年以上3年未満」「3年以上」の長期の虐待の計も、ほぼ同程度の割合を占めている。

○長期の虐待については、ネグレクトは長期間に及び不適切な養育の積み重ねであること、心理的虐待（DV目撃）は以前からの夫婦関係の悪さや、DVが繰り返し起きること、性的虐待は表面化しにくい問題であることが関連している。

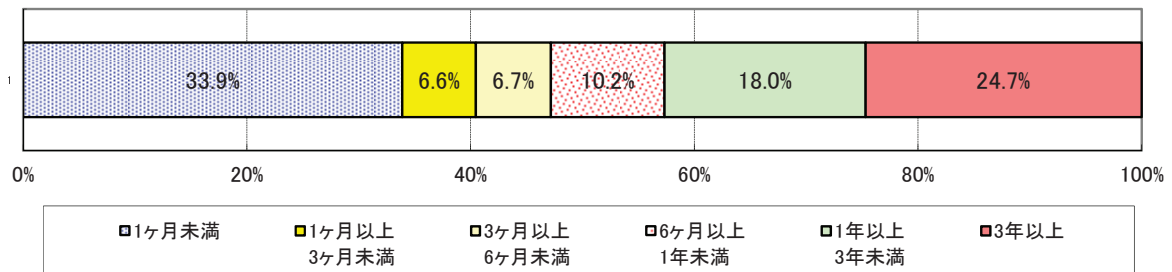
#### ①虐待の期間（主たる虐待）

表-7（件数、横構成比）

1ヶ月未満	1ヶ月以上 3ヶ月未満	3ヶ月以上 6ヶ月未満	6ヶ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上	不明	計
217	42	43	65	115	158	410	1,050
20.7%	4.0%	4.1%	6.2%	11.0%	15.0%	39.0%	100.0%

虐待の期間別割合（主たる虐待）

※不明をのぞく 図-4



#### ②虐待の期間と虐待種別の関係（主たる虐待）

表-8（件数、横構成比）

	1ヶ月未満	1ヶ月以上 3ヶ月未満	3ヶ月以上 6ヶ月未満	6ヶ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上	不明	計
身体的虐待	43 16.9%	13 5.1%	14 5.5%	20 7.9%	31 12.2%	39 15.4%	94 37.0%	254 100.0%
性的虐待	3 37.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%	8 100.0%
ネグレクト	33 14.4%	13 5.7%	13 5.7%	26 11.4%	25 10.9%	37 16.2%	82 35.8%	229 100.0%
同居人による虐待の放置以外	30 14.8%	12 5.9%	13 6.4%	21 10.3%	23 11.3%	36 17.7%	68 33.5%	203 100.0%
同居人による虐待の放置	3 11.5%	1 3.8%	0 0.0%	5 19.2%	2 7.7%	1 3.8%	14 53.8%	26 100.0%
心理的虐待	138 24.7%	15 2.7%	16 2.9%	19 3.4%	57 10.2%	81 14.5%	233 41.7%	559 100.0%
DV目撃を除く	34 17.5%	2 1.0%	3 1.5%	6 3.1%	26 13.4%	16 8.2%	107 55.2%	194 100.0%
DV目撃	104 28.5%	13 3.6%	13 3.6%	13 3.6%	31 8.5%	65 17.8%	126 34.5%	365 100.0%

#### (4) 虐待の重症度

- 4年間で「生命の危機」は15人(1.4%)で、前回(H21-H24)よりも増加している。内訳は、「身体的虐待」4人、「ネグレクト」11人である。
- 「軽度虐待」と「虐待の危惧あり」を併せると全体の6割を超えている。
- 虐待種別との関係を見ると、「性的虐待」以外は「軽度虐待」の占める割合が5割以上となっている。
- 特に「心理的虐待」では、「身体的虐待」や「ネグレクト」に比べ、子どもの身体・生命への直接的な影響が少ないことから、重度の割合が低くなっている。

#### ①虐待重症度

表-9 (件数、横構成比)

	生命の危機	重度虐待	中度虐待	軽度虐待	虐待の危惧	計
H21-H24	6 0.8%	53 6.6%	235 29.4%	421 52.6%	85 10.6%	800 100.0%
H25-H28	15 1.4%	56 5.3%	284 27.0%	583 55.5%	112 10.7%	1,050 100.0%

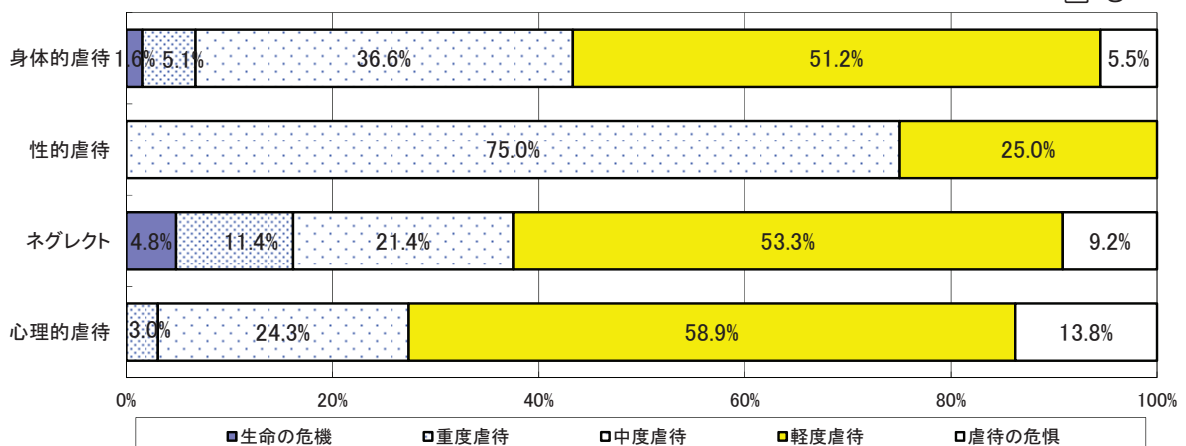
#### ②虐待重症度と虐待種別の関係

表-10 (件数、横構成比)

	生命の危機	重度虐待	中度虐待	軽度虐待	虐待の危惧	計
身体的虐待	4 1.6%	13 5.1%	93 36.6%	130 51.2%	14 5.5%	254 100.0%
性的虐待	0 0.0%	0 0.0%	6 75.0%	2 25.0%	0 0.0%	8 100.0%
ネグレクト	11 4.8%	26 11.4%	49 21.4%	122 53.3%	21 9.2%	229 100.0%
同居人による虐待の放置以外	10 4.9%	24 11.8%	41 20.2%	109 53.7%	19 9.4%	203 100.0%
同居人による虐待の放置	1 3.8%	2 7.7%	8 30.8%	13 50.0%	2 7.7%	26 100.0%
心理的虐待	0 0.0%	17 3.0%	136 24.3%	329 58.9%	77 13.8%	559 100.0%
DV目撃を除く	0 0.0%	5 2.6%	47 24.2%	105 54.1%	37 19.1%	194 100.0%
DV目撃	0 0.0%	12 3.3%	89 24.4%	224 61.4%	40 11.0%	365 100.0%

虐待種別の重症度割合

図-5



(5) 地域別状況

○地域別に虐待相談の状況をみると、児童数の地域別割合に準じた傾向が見られる。

①地域別状況

表-11 (件数、横構成比)

	村山	最上	置賜	庄内	県外	計
H14-H16	233 49.5%	27 5.7%	124 26.3%	85 18.0%	2 0.4%	471 100.0%
H17-H20	304 49.8%	43 7.0%	120 19.6%	144 23.6%	0 0.0%	611 100.0%
H21-H24	377 47.1%	60 7.5%	129 16.1%	230 28.8%	4 0.5%	800 100.0%
H25-H28	405 38.6%	64 6.1%	238 22.7%	331 31.5%	12 1.1%	1,050 100.0%

《参考》児童数の地域別割合

表-12 (人数、横構成比)

	村山	最上	置賜	庄内	計
児童数 (H28.10.1)	88,093 50.2%	11,709 6.7%	33,445 19.0%	42,358 24.1%	175,605 100.0%

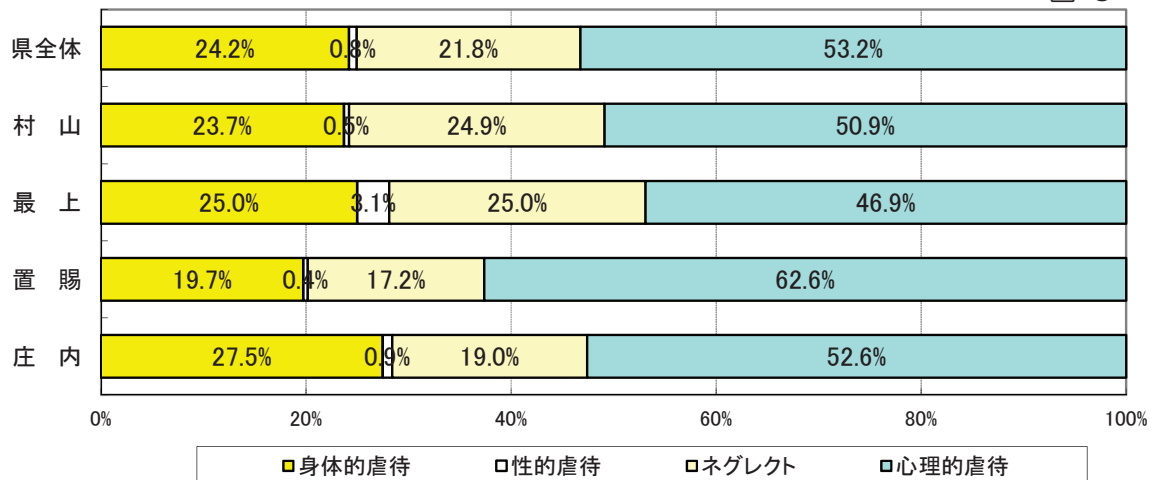
②地域別と虐待種別の関係

表-13 (件数、横構成比)

	身体的虐待	性的虐待	ネグレクト	同居人による虐待の放置		心理的虐待	DV		計
				同居人による虐待の放置以外	同居人による虐待の放置		DV目撃を除く	DV目撃	
村山	96 23.7%	2 0.5%	101 24.9%	89 22.0%	12 3.0%	206 50.9%	77 19.0%	129 31.9%	405 100.0%
最上	16 25.0%	2 3.1%	16 25.0%	16 25.0%	0 0.0%	30 46.9%	6 9.4%	24 37.5%	64 100.0%
置賜	47 19.7%	1 0.4%	41 17.2%	35 14.7%	6 2.5%	149 62.6%	40 16.8%	109 45.8%	238 100.0%
庄内	91 27.5%	3 0.9%	63 19.0%	55 16.6%	8 2.4%	174 52.6%	71 21.5%	103 31.1%	331 100.0%

地域別の虐待種別割合

図-6



## (6) 相談受付経路

- 相談受付経路は、「警察」が51.1%と半数を超えているほかには、「学校」が9.8%、「市町村（児童福祉）」が6.9%と多くなっている。
- 「学校」は虐待を発見しやすく「市町村（児童福祉主管課）」は要対協の調整機関となっているため、情報が集約されやすいと考えられる。
- 前回調査との比較では、「警察」が大幅に増加しており、特に心理的虐待の67.6%、DV目撃の86.0%を警察が占めている。

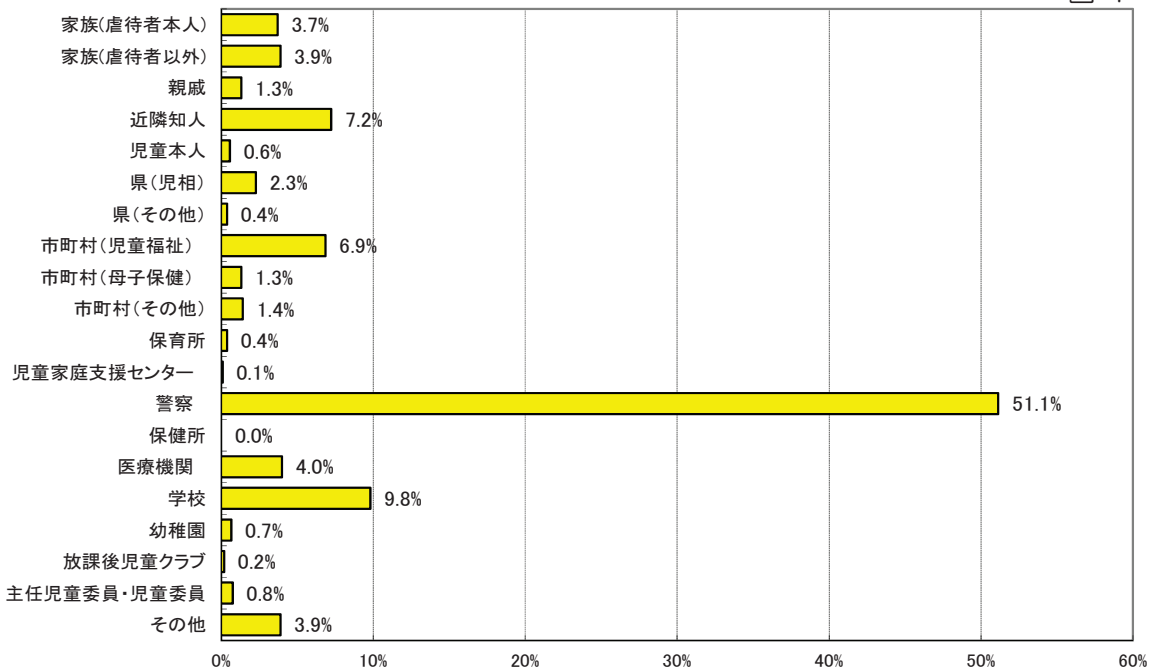
### ①相談受付経路

表-14（件数、縦構成比）

	H14-H16		H17-H20		H21-H24		H25-H28	
家族(虐待者本人)	8	1.7%	49	8.0%	51	6.4%	39	3.7%
家族(虐待者以外)	75	15.9%	70	11.5%	65	8.1%	41	3.9%
親戚	3	0.6%	16	2.6%	28	3.5%	14	1.3%
近隣知人	23	4.9%	39	6.4%	55	6.9%	76	7.2%
児童本人	4	0.8%	9	1.5%	7	0.9%	6	0.6%
県(児童相談所)	82	17.4%	16	2.6%	22	2.8%	24	2.3%
県(その他)			11	1.8%	23	2.9%	4	0.4%
市町村(児童福祉主管課)	31	6.6%	151	24.7%	147	18.4%	72	6.9%
市町村(母子保健主管課)					10	1.3%	14	1.3%
市町村(その他)					10	1.3%	15	1.4%
保育所	17	3.6%	14	2.3%	5	0.6%	4	0.4%
児童家庭支援センター	—	—	1	0.2%	3	0.4%	1	0.1%
警察	25	5.3%	43	7.0%	163	20.4%	537	51.1%
保健所	13	2.8%	10	1.6%	4	0.5%	0	0.0%
医療機関	32	6.8%	50	8.2%	49	6.1%	42	4.0%
学校	81	17.2%	109	17.8%	139	17.4%	103	9.8%
幼稚園					0	0.0%	7	0.7%
放課後児童クラブ					2	0.3%	2	0.2%
主任児童委員・児童委員	4	0.8%	10	1.6%	4	0.5%	8	0.8%
その他	73	15.5%	13	2.1%	13	1.6%	41	3.9%
計	471	100.0%	611	100.0%	800	100.0%	1,050	100.0%

相談受付経路（H25-H28）

図-7



②相談受付経路と虐待種別の関係

表-15 (件数、縦構成比)

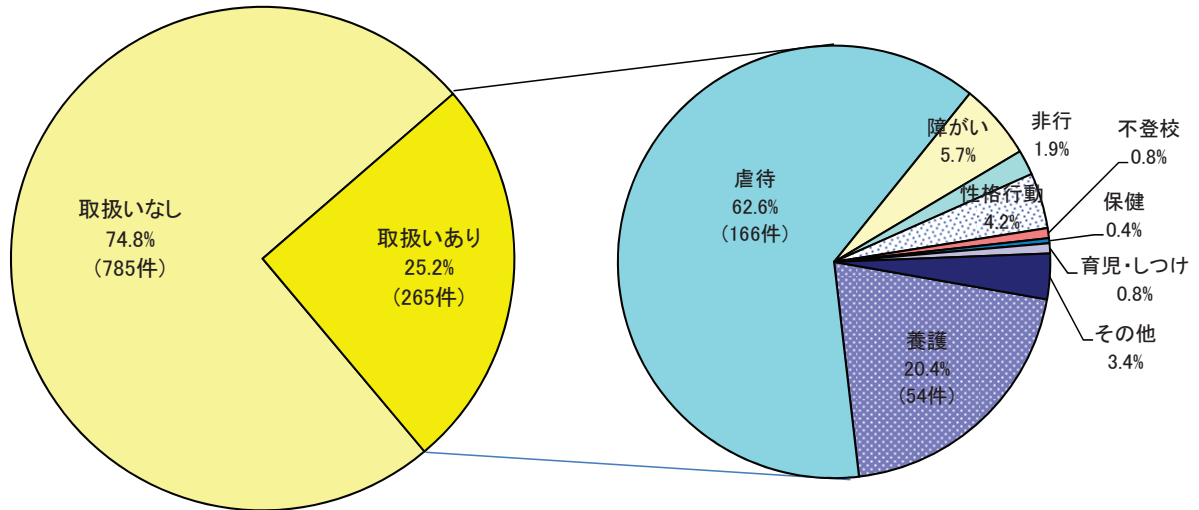
	身体的虐待		性的虐待		ネグレクト		心理的虐待		DV目撃以外		DV目撃	
	件数	縦構成比	件数	縦構成比	件数	縦構成比	件数	縦構成比	件数	縦構成比	件数	縦構成比
家族(虐待者本人)	6	2.4%	0	0.0%	14	6.1%	19	3.4%	15	7.7%	4	1.1%
家族(虐待者以外)	12	4.7%	0	0.0%	4	1.7%	25	4.5%	13	6.7%	12	3.3%
親戚	2	0.8%	0	0.0%	7	3.1%	5	0.9%	5	2.6%	0	0.0%
近隣知人	16	6.3%	0	0.0%	24	10.5%	36	6.4%	36	18.6%	0	0.0%
児童本人	2	0.8%	0	0.0%	2	0.9%	2	0.4%	2	1.0%	0	0.0%
県(児童相談所)	10	3.9%	0	0.0%	11	4.8%	3	0.5%	1	0.5%	2	0.5%
県(その他)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.7%	0	0.0%	4	1.1%
市町村(児童福祉主管課)	21	8.3%	1	12.5%	36	15.7%	14	2.5%	7	3.6%	7	1.9%
市町村(母子保健主管課)	3	1.2%	2	25.0%	5	2.2%	4	0.7%	4	2.1%	0	0.0%
市町村(その他)	6	2.4%	0	0.0%	5	2.2%	4	0.7%	2	1.0%	2	0.5%
保育所	1	0.4%	0	0.0%	3	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
児童家庭支援センター	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
警察	111	43.7%	0	0.0%	48	21.0%	378	67.6%	64	33.0%	314	86.0%
保健所	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
医療機関	14	5.5%	0	0.0%	12	5.2%	16	2.9%	13	6.7%	3	0.8%
学校	39	15.4%	5	62.5%	24	10.5%	35	6.3%	22	11.3%	13	3.6%
幼稚園	1	0.4%	0	0.0%	6	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
放課後児童クラブ	0	0.0%	0	0.0%	2	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
主任児童委員・児童委員	0	0.0%	0	0.0%	8	3.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	10	3.9%	0	0.0%	17	7.4%	14	2.5%	10	5.2%	4	1.1%
計	254	100.0%	8	100.0%	229	100.0%	559	100.0%	194	100.0%	365	100.0%

(7) 児童相談所での過去の取扱い状況

○児童相談所における過去の取扱い状況では、取扱いなしが7割を超える。  
 ○「取扱いあり」の内訳は、「虐待」62.6%、「養護」20.4%で、全体の8割強を占める。  
 ○「取扱いあり」については、状況の改善が得られず再度介入が必要となったもの、一度改善したが状況変化が生じて再度介入が必要となったものが多く、虐待の問題に対する支援の難しさを示している。

①過去の取扱状況と相談種別 (H25-H28)

図-8



②「過去の取扱いあり」における虐待者の続柄と虐待種別

表-16 (件数、縦構成比)

	身体的虐待		性的虐待		ネグレクト		心理的虐待		DV目撃以外		DV目撃		計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
実父	13	26.5%	0	0.0%	4	7.3%	22	35.5%	5	14.7%	2	7.1%	39	23.5%
継父	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
養父	6	12.2%	0	0.0%	1	1.8%	5	8.1%	1	2.9%	1	3.6%	12	7.2%
里父	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
実母	27	55.1%	0	0.0%	49	89.1%	33	53.2%	16	47.1%	1	3.6%	109	65.7%
継母	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
養母	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%
里母	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
きょうだい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
祖父	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%
祖母	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%	2	5.9%	0	0.0%	2	1.2%
内縁の夫	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%
内縁の妻	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他の人	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%
計	49	100.0%	0	0.0%	55	100.0%	62	100.0%	24	70.6%	4	14.3%	166	100.0%

③「過去の取扱いあり」における一時保護の実施と相談種別

表-17 (件数、横構成比)

一時保護あり	相談種別					一時保護なし	不明	計
	養護	虐待	非行	性格行動	その他			
49	18	21	4	5	1	213	3	265
18.5%	6.8%	7.9%	1.5%	1.9%	0.4%	80.4%	1.1%	100.0%

④「過去の取扱いあり」における援助実施内容

表-18 (件数、縦構成比)



	件数	構成比
助言指導終結(市町村等に引き継いで終了)	63	23.8%
助言指導終結(完全に相談終了)	71	26.8%
継続指導	96	36.2%
他機関斡旋	0	0.0%
児童福祉施設入所	17	6.4%
里親委託	1	0.4%
児童福祉司指導	1	0.4%
福祉事務所送致	0	0.0%
知的障害者福祉司指導	0	0.0%
その他	16	6.0%
計	265	100.0%

《参考》児童相談所の援助内容について

表－４ 児童相談所が行う援助の種類

1 在宅指導等	(1) 措置によらない指導	ア 助言指導 イ 継続指導 ウ 他機関あつせん
	(2) 措置による指導	ア 児童福祉司指導 イ 児童委員指導 ウ 児童家庭支援センター指導 エ 知的障害者福祉司指導、社会福祉主事指導 オ 障害児相談支援事業を行う者の指導
	(3) 訓戒、誓約措置	
2	児童福祉施設入所措置、指定国立療養所等委託	
3	里親委託	
4	児童自立生活援助措置	
5	福祉事務所送致等	
6	家庭裁判所送致	
7	家庭裁判所に対する家事審判の申立て	

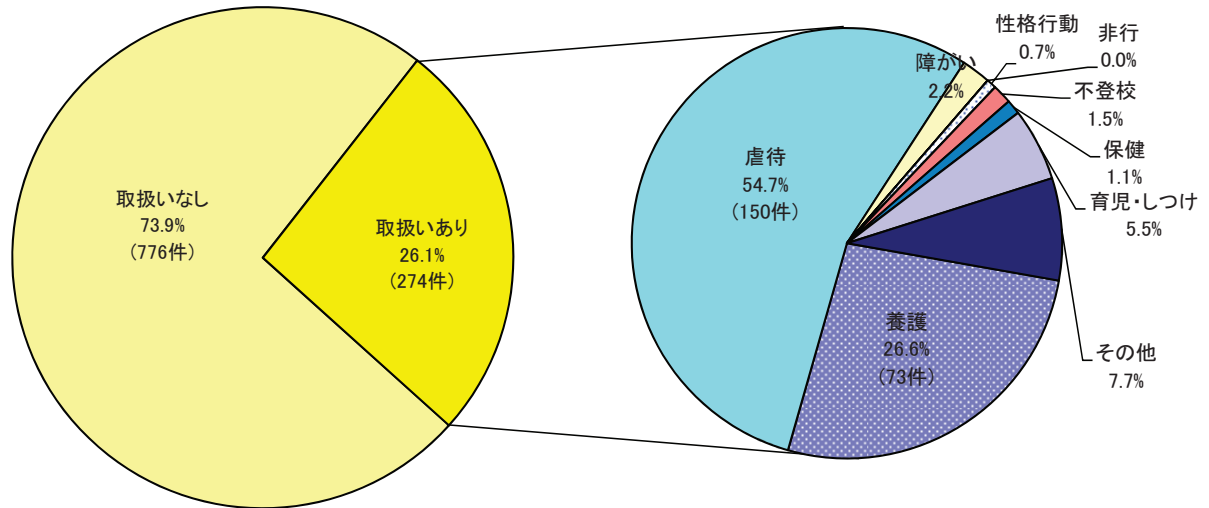
(引用：厚生労働省 児童相談所の運営指針について)

## (8) 市町村での取扱い状況

- 市町村の取扱い状況では、新規の取扱いが7割を超えている。
- 虐待者の続柄では、「実母」70.0%、「実父」23.3%で、全体の9割を超えている。
- 一時保護等の介入が必要な13.1%について、「児童相談所送致」がなされている。

### ①市町村の取扱い状況と相談種別

図-9



### ②「市町村の取扱いあり・相談種別虐待」における虐待者の続柄と虐待種別

表-19 (件数、縦構成比)

	身体的虐待		性的虐待		ネグレクト		心理的虐待		計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
実父	12	23.1%	0	0.0%	6	9.5%	17	48.6%	35	23.3%
継父	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
養父	3	5.8%	0	0.0%	0	0.0%	5	14.3%	8	5.3%
里父	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
実母	35	67.3%	0	0.0%	57	90.5%	13	37.1%	105	70.0%
継母	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
養母	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
里母	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
きょうだい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
祖父	2	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.3%
祖母	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
内縁の夫	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
内縁の妻	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他の人	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	52	100.0%	0	0.0%	63	100.0%	35	100.0%	150	100.0%

### ③「市町村の取扱いあり」における援助実施内容

表-20 (件数、縦構成比)

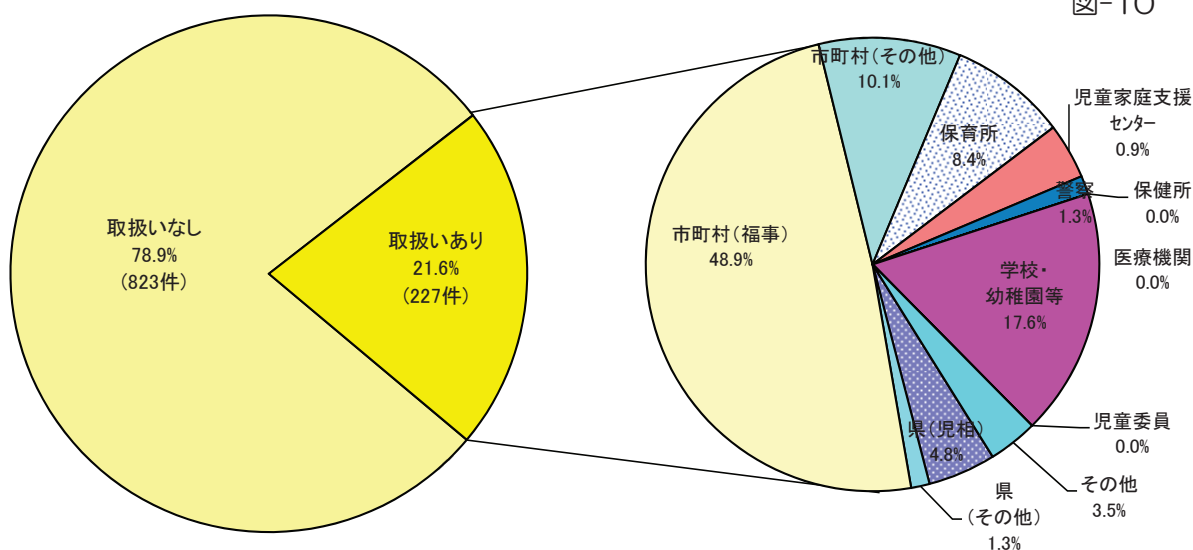
	件数	構成比
助言指導	38	13.9%
継続指導	200	73.0%
児童相談所送致	36	13.1%
計	274	100.0%

(9) 要保護児童対策地域協議会と他機関での取扱い状況

(要保護児童対策地域協議会での取扱)  
 ○相談受付時における要保護児童対策地域協議会(以下、“要対協”という。)の取扱い状況は、「取扱いあり」が21.6%と2割強となっている。  
 ○「取扱いあり」のうち、主たる援助機関は、「市町村(福事)」が48.9%と、半数近くを占め、次いで「学校・幼稚園等」17.6%、「市町村(その他)」10.1%となっている。  
 (他機関での取扱)  
 ○相談受付時における他機関での取扱い状況は、「取扱いあり」が66.0%で、そのうち援助している機関は、「警察」が23.1%を占めている。これは、心理的虐待(面前DV)の通告の割合が高いことによる。

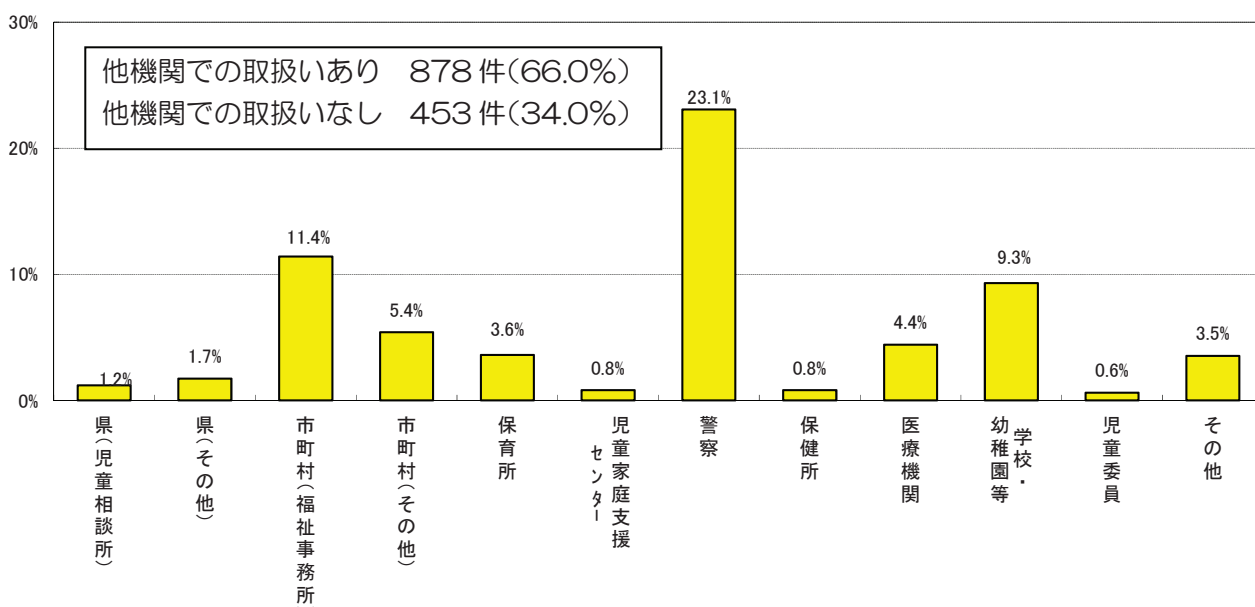
①相談受付時における要保護児童対策地域協議会の取扱い状況と主たる援助機関

図-10



②相談受付時における他機関での取扱い状況と援助機関

図-11



※複数回答あり。